

福島の復興と 再生の歩みを学ぶ

Fukushima
Fukko &
Saisei

つなげよう 次の未来へ

復興・再生の取組

福島県はやわかりガイド

浜通りおすすめスポット

震災伝承施設ガイド



福 島

地震・津波被害に加え、東京電力福島第一原発が水素爆発を起こし、世界でも類を見ない複合災害を経験した福島県。とくに原子力災害では多くの避難者を生み、さらに放射線汚染にともなう風評被害までもが発生。今までに経験したことのない長期の避難や健康不安などによる苦痛への対応といった幅広い対策が必要となり、いまだ復興・再生の道半ばにあります。

しかし除染作業や懸命な復旧作業が行われ、県内の面的除染は帰還困難区域を除き平成30年(2018)に完了。避難指示区域は順次解除が進み、いまだ残る帰還困難地域においても特定復興再生拠点区域(一部の避難指示を解除し、居住を可能とすることを旨とする区域)が定められました。現在は復興(災害)公営住宅が整備されるなど住民の帰還に向けた動きが加速しています。



最大震度
6強

浸水面積
112km²

最大浸水深
21.1m(富岡町)



全壊
15,435棟

半壊
82,783棟

一部損壊
141,054棟



死者
3,931人

行方不明者
224人

負傷者
183人



あの日何が起きたのか…

1 浪江町請戸を襲った津波で町は壊滅状態に 2 いわき市久之浜地区も津波被害を受け、火災も発生した 3 相馬市相馬港周辺。ここでも火災の様子が見て取れる 4 東京電力福島第一原発。構内はがれきの山となり炉心が溶融する事態に 5 須賀川市吉美根地区。道路は陥没して通行不能になった 6 須賀川市八幡町。建

物が座屈して危険な状態に 7 8 南相馬市や相馬市も津波に見舞われ、なぎ倒された木々やがれきが散乱した 9 南相馬市～相馬市付近。巨大な波は堤防を乗り越え、越え町を飲み込んだ

※写真提供: 福島県

復興の歩み

原発事故をあらためて知る

福島県には大熊町・双葉町にまたがる東京電力福島第一原発、楡葉町・富岡町にまたがる東京電力福島第二原発の2カ所の原発があります。地震直後に第一・第二原発ともに原子炉は自動停止。第一原発においては外部電源を喪失し、その後押し寄せた巨大津波により非常用電源を含む全交流電源を喪失しました。原子炉を冷却する機能を失った第一原発の1～3号機は、燃料が露出し事態はさらに悪化。炉心損傷や溶融により放射性物質が放出され、大量に発生した水蒸気などにより格納容器の内圧が上昇。そして3月12日に1号機、3月14日に3号機が水素爆発を起こしました。さらに3月15日には、地震発生時に定期点検のため運転を停止していた4号機でも、3号機から流入した水素により水素爆発が発生。これは昭和61年(1986)のチェルノブイリ原子力発電所事故に並ぶ、世界でも最も深刻なレベルの原発事故となったのです。

順次解除が進む避難指示区域のいま

避難者は平成24年(2012)5月の16万4865人をピークに減少し、2023年8月現在は約2万7000の方が避難を続けています。避難指示区域は順次解除が進み、2023年5月までに6町村における特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されています。



※新生ふくしま復興推進本部「ふくしま復興のあゆみ 第32.1版」P2の地図に基づいて作成

※参考・引用資料

- ふくしま復興のあゆみ第32.1版, 令和5年8月24日発行, 新生ふくしま復興推進本部
- 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度, 平成24年12月, 気象庁
- 津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報), 平成23年4月18日, 国土地理院
- 津波痕跡データベース, 東北大学災害科学国際研究所
- 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
- 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙), 令和4年3月8日(火)14時00分, 消防庁災害対策本部
- 東日本大震災の記録と復興への歩み, 平成25年3月発行, 福島県
- 東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会 報告, 平成23年9月28日, 中央防災会議
- 東日本大震災・原子力災害伝承館ガイドブック(東日本大震災・原子力災害伝承館)



◎2011年3月20日の災害対策本部の様子。膨大な量の資料が集められている

◎震災2日後の3月13日に病院から避難のため搬送される患者たち



◎2011年6月に南相馬市の沿岸部で防護服を着て行われた集中捜索



◎除染作業の様子



過去の解除・再編状況

2014年

- 4月 1日 … 田村市 / 避難指示解除準備区域解除
- 10月 1日 … 川内村 / 避難指示解除準備区域解除、居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編

2015年

- 9月 5日 … 楡葉町 / 避難指示解除準備区域解除

2016年

- 6月 12日 … 葛尾村 / 居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
- 6月 14日 … 川内村 / 避難指示解除準備区域解除
- 7月 12日 … 南相馬市 / 居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除

2017年

- 3月 31日 … 川俣町・浪江町・飯館村 / 居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
- 4月 1日 … 富岡町 / 居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除

2019年

- 4月 10日 … 大熊町 / 居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除

2020年

- 3月 4日 … 双葉町 / 避難指示解除準備区域及び帰還困難区域のうち双葉駅周辺解除
- 3月 5日 … 大熊町 / 帰還困難区域のうち大野駅周辺解除
- 3月 10日 … 富岡町 / 帰還困難区域のうち夜・森駅周辺解除

2022年

- 6月 12日 … 葛尾村 / 特定復興再生拠点区域避難指示解除
- 6月 30日 … 大熊町 / 特定復興再生拠点区域避難指示解除
- 8月 30日 … 双葉町 / 特定復興再生拠点区域避難指示解除

2023年

- 3月 31日 … 浪江町 / 特定復興再生拠点区域避難指示解除
- 4月 1日 … 富岡町 / 特定復興再生拠点区域避難指示解除
- 5月 1日 … 飯館村 / 特定復興再生拠点区域及び長泥曲田公園避難指示解除

interview

未来へつなぐ

復興・再生の取組

東日本大震災から約12年が経ち、まちづくりの復興・再生がさらに進む福島県。東日本大震災の記憶と経験を伝え、未来を見据えたまちづくりに取り組む方々を紹介いたします。



②農業未経験者も携わり、農業の新しいビジネスモデルを構築



①栽培工場の敷地面積は約4.8ha。約15万株のイチゴが栽培可能



③24時間コンピュータ管理でイチゴでいく最適な環境に調整



④一粒粒を選別し、販売先の安心感につながる徹底した品質管理を行う

イチゴ栽培を通して町に再び賑わいを

大熊町

ネクサスファーム
おおくま

壊滅的な被害を受けた農家復興の先駆けに

大熊町はかつて、ナシやキウイなどのフルーツの産地として知られていました。しかし、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、町の約6割が帰還困難区域に指定され、果樹農家は壊滅的な被害を受けました。

平成29年(2017)10月、町は「特定復興再生拠点区域復興再生計画」を国に申請。翌月に認定を受け、復興への歩みが始まりました。その先駆けとなったのが、イチゴ栽培です。平成30年(2018)に設立された株式会社ネクサスファームおおくまは、町が100%出資する第三セクター企業です。最新の

設備を誇る太陽光利用型植物工場では、1年を通してイチゴの栽培・出荷が行われています。

新時代をリードする果樹栽培工場を目指す

工場長の徳田辰吾とくだ たしごさんは、開業当時を振り返り、次のように話してくれました。「大変な思いをして町に戻ってきた住民の方々は、初めてイチゴが実ったとき、できたと言って泣いている人もいたほどです。何も作れなくなつた町だったけれど、そこから何かが生まれたことを喜ばれたのだと思います。私ももらい泣きをしてしまいました」

震災から12年以上が過ぎても、約1万人いた住民の多くがまだ戻れない現実があります。そんな厳しい状況にあつても、住民とともにイチゴ栽培に力を尽くし、新時代の農業をリードする希望の星となっています。



⑤工場長 徳田辰吾さん

住民の目線から 双葉郡8町村の 情報を発信

富岡町

ふたばいんふお

→P17



①双葉郡の特産品やグッズなども販売

双葉郡8町村の 被災状況を展示

「ふたばいんふお」は、双葉郡8町村の現状を共有し、伝えるための場です。現在も帰還困難区域を抱える富岡町にあり、被災から復興状況に関する情報発信などを行っています。

設立の経緯を「ふたばいんふお」の代表である平山勉さんに尋ねると「平成27年(2015)に立ち上げた双葉郡未来会議が始まりで

す」このこと。双葉郡8町村の情報や課題を話し合うなかで、常設展示をする場が必要だと感じ、自らの出身地である富岡町に設立したそうです。現在は住民同士がつながる場であるとともに、この地域を知りたいと思う人も自由に利用できる場となっています。

来訪者の希望に合わせた スタディーツアーも実施

その活動の一環としてスタディーツアーも行っています。知りたいこと、行きたい場所など来訪者の希望に合わせてプランを作成。車を使って町の被災状況や復興の様子などについて案内・解説してくれるツアーです。

「ここでお話しする内容は、震災体験のみならず、地域の歴史や特徴、復興への過程などが多いです。地元住民ならではの立場と目線でリクエストに合わせることもあります」と平山さん。展示を見るだけでなく、ツアーにも参加して、この地域のことを、より広く、より深く知ってほしいと願っています。



④スタディーツアーでは夜の森地区の桜並木(P9)を巡ること



③代表 平山勉さん

独自のプログラムで 次代を担う人材を育成

広野町

福島県立 ふたば未来学園 中学校・高等学校



①平成27年(2015)に高校、平成31年(2019)に中学校が開校。約600人の生徒が通う

変革する力を鍛える 注目の中高一貫校

震災後、双葉地区教育長会が「双葉郡教育復興ビジョン」を策定し、その柱のひとつとして誕生した中高一貫の県立学校。複合災害のさまざまな困難を乗り越えようとする子どもたちのため、自身・地域社会を変革する人材を育成する場として開校しました。

開校時に勤務し、2023年に副校長として戻ってきた対馬俊晴さんは、「立ち上げの3年間は探究的

な学びのためのプログラムを作ることに精一杯でしたが、5年ぶりに戻ってきてその内容がほぼ確立していました。生徒の力を引き出し、深い学びにつながっていると実感します」と話します。

生徒たちが被災地を巡り 演劇で表現する学びも

「未来創造探究」を学びの柱に置き、生徒たちの課題解決力を伸ばしている同校では、「フィールドワークやワークショップも行っていきます。高校1年次には、被災地を巡って地元の人々から話を聞くバスツアーを実施。そのフィールドワークをもとに、生徒が演劇を創作して表現します。取材・演劇を通して、地元の課題を見つめるだけでなく、他者の気持ちも分かるようになります。この学びから、社会課題を解決する時に必要な思いやりや寛容性も身に付けてほしいです」と対馬さん。

地域の人々とながらながら、生徒たちが震災を語り継ぐ。独自の教育活動を通して、これからの社会づくりを担う人材を育てています。



②副校長 対馬俊晴さん
⑤National Training Center VILLAGE (n2) 双葉郡を巡るフィールドワーク



福島県

はやわかりガイド

会津若松
●つるがじょう
鶴ヶ城

☎0242-27-4005 (会津若松観光ビューロー
鶴ヶ城管理事務所) MAP P23C2

戊辰戦争の舞台となつた城。昭和40年(1965)に再建した赤瓦の天守閣は会津若松のシンボル。

①会津若松市追手町1-1
②JR会津若松駅から車で10分 ③天守閣入場券410円、子ども150円 ④8時30分~17時(最終入館は16時30分) ⑤無休 ⑥360台(2時間300円)



1 まずは人気エリアの
きほんをチェック

会津の歴史を伝える鶴ヶ城や江戸時代の宿場町・大内宿など、歴史を感じるスポットは必見。ソウルフードや温泉リゾートも見逃せない。



大内宿・南会津
●おうちいゆく
大内宿

☎0241-68-3611 (大内宿観光案内所) MAP P23C3
江戸時代に栄えた宿場町で、山あい茅葺き屋根の古民家が並び、見晴台から宿場の町並みを一望できる。
①下郷町大内山本 ②会津鉄道湯野上温泉駅から車で15分 ③無休 ④散策自由 ⑤300台(1日500円)

磐梯高原・猪苗代
●いなわしろこ
猪苗代湖

☎0242-62-2048 (猪苗代観光協会) MAP P23C2
日本で4番目に広い湖。「天鏡湖」とよばれるほど透明度が高く、湖面に磐梯山の美しい姿を映し出す。
①猪苗代町・会津若松市・郡山市 ②見学自由



磐梯高原・猪苗代
●ごしきぬまこしよくん
五色沼湖沼群

☎0241-32-2349 (真磐梯観光協会) MAP P23C2
磐梯山の噴火によってできた大小30余りの湖沼群。それぞれ緑、赤、青など鮮やかな湖面をもつ。
①北塩原村松原 ②磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICから車で25分 ③見学自由 ④周辺駐車場利用

必食! 当地グルメ



福島全域
フルーツ
モモなど果物の栽培が盛んな福島県。果物狩りやフルーツパフェで旬の味覚を体感しよう。



福島
ふくしま餃子
フライパンにびっしりを入れて円盤型に焼き上げる。小ぶりですっきり箸が進む。



喜多方
喜多方ラーメン
ラーメン文化が根付く喜多方には名店があちこちらに。「朝ラー」も楽しめる。



会津若松
わっば飯
曲げわっばに米と具材を詰めて蒸し上げる、味わい豊かな当地グルメ。

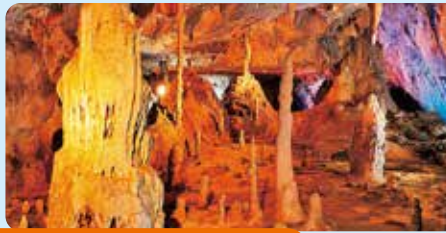
郡山・三春・白河
●みはるたきざくら
三春滝桜

☎0247-62-3690 (三春まちづくり公社) MAP P22D2
大正11年(1922)に桜の木としては初めて国の天然記念物に指定された名木。国内最大級といわれるしだれ桜で日本三大桜の一つ。



郡山・三春・白河
●あぶくまどう
あぶくま洞

☎0247-78-2125 (あぶくま洞管理事務所) MAP P22E3
全長600mの鍾乳洞で、鍾乳石の種類と数が豊富なことで有名。探検しながら地底の神秘に触れられる。



四季のイベント

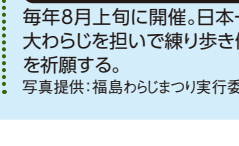
会津若松
会津まつり

☎0242-23-4141 (会津まつり協会) MAP P23C2
毎年9月下旬に開催。鶴ヶ城から出陣する会津藩公行列などさまざまな行事が行われる。



福島
福島わらじまつり

☎024-572-7118 (福島わらじまつり実行委員会) MAP P22D1
毎年8月上旬に開催。日本一の大わらじを担いで練り歩き健脚を祈願する。

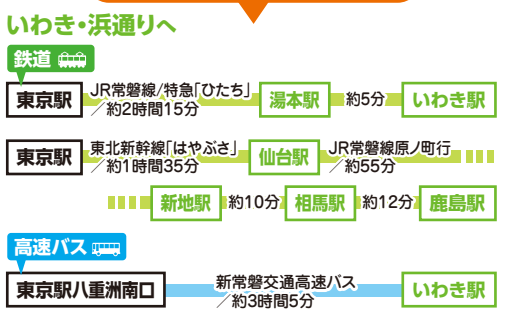


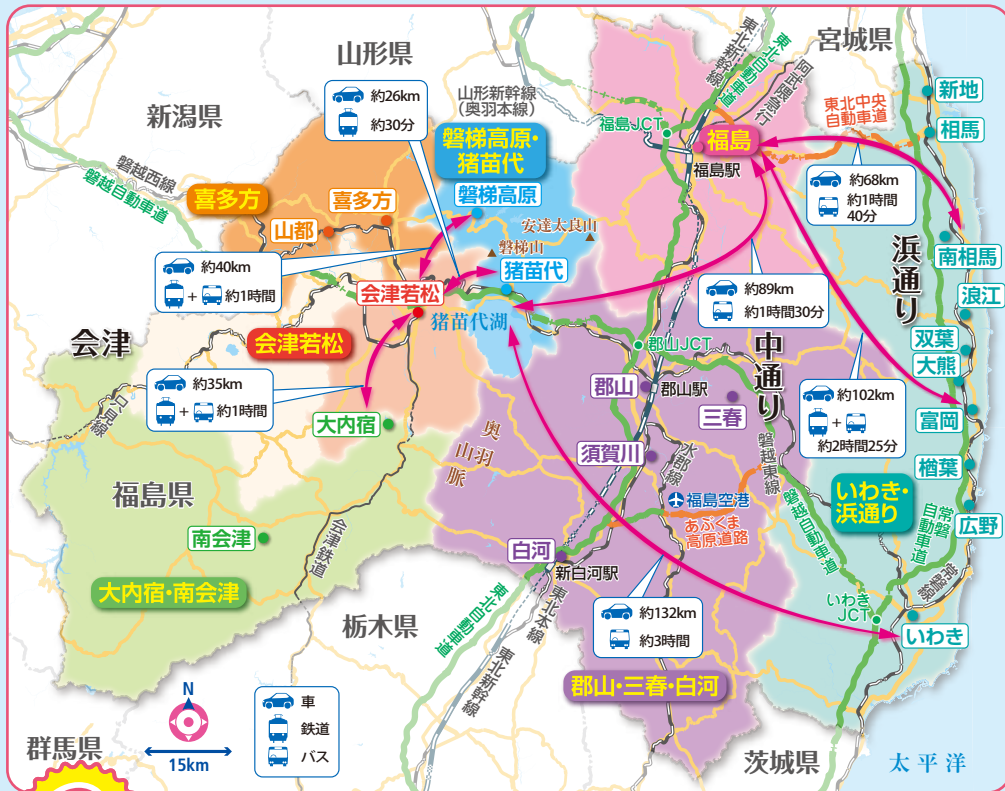
いわき・浜通り
相馬野馬追

☎0244-22-3064 (相馬野馬追執行委員会事務局) MAP P22E2
騎馬武者が甲冑競馬や神旗争奪戦などを行う重要無形民俗文化財。開催日はホームページで要確認。写真提供:相馬野馬追執行委員会



首都圏からのアクセス





新地
●かるうさん
鹿狼山
☎0244-26-3720 (新地町観光案内所)
MAP P22E1
四季を通して登れる里山。海を見ながら登れる山として知られ、特に頂上から望む太平洋は絶景だ。
①新地町杉目飯種 ②JR新地駅から車で10分 ③④⑤散策自由 ⑥30台



相馬
●まつかわら
松川浦
☎0244-35-3300 (相馬市観光協会)
MAP P22E1

小島が点在する様子から「小島」とも評される景勝地。夕暮れ時の松川浦桟橋も絶景だ。海鮮や温泉も楽しめる。

2 伝承施設とあわせて行きたい沿岸部の魅力

→P10~21

このエリアの おいしいもの

いわき
ジャンボメニュー
いわき市市間町はジャンボシュークリーム(写真)などデカ盛り聖地。

いわき **あんこう鍋**
あんこうを丸ごと使い、味噌、野菜などと煮込むいわきの冬の味覚。

浪江
なみえ焼そば
地元で半世紀以上愛されるソウルフード。太い中華麺、もやしと豚肉を使うのがルール。

相馬 **カニ料理**
松川浦はズワイガニの水揚げがさかん。カニ刺やしゃぶしゃぶで食べられる店も。

南相馬
アイスまんじゅう
南相馬市の老舗牛乳工場が作る銘菓。アイスと練り餡が相性抜群。

南相馬
●だいひさんのせきぶつ
大悲山の石仏
☎0244-24-5284 (南相馬市教育委員会文化財課) MAP P22E2
東北地方最大・最古の石仏群。浮彫の如来像や菩薩像などが見られる薬師堂のほか、阿弥陀堂、観音堂がある。
①南相馬市小高区泉沢薬師前など ②JR小高駅から車で10分 ③④⑤見学自由 ⑥15台



いわき
●みさきこうえん
三崎公園
☎0246-53-2448 (三崎公園管理事務所) MAP P22E4
小名浜港の東側にあるシーサイドパーク。高さ約60mのいわきマリンタワーから太平洋を眺められる。

いわき
●いわき市小名浜下神白大作93
①JR泉駅から車で15分 ②入館無料 (いわきマリンタワーは③入館330円) ④9~17時(最終入館は閉館30分前まで、夏期延長あり) ⑤第3火曜(祝日の場合は翌日、8月は無休) ⑥750台



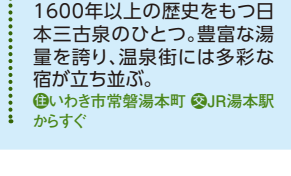
南相馬
●からすざきかいがん
鳥崎海岸
MAP P22F2

写真提供: 南相馬市
約2kmの砂浜が広がる海岸で、早朝に見られる相馬野馬追に向けた練馬の風景が有名。朝日をバックに馬が駆ける姿は、感動的な光景だ。
①南相馬市鹿島区鳥崎牛島256-2 ②JR鹿島駅から車で10分 ③④⑤散策自由 ⑥30台

相馬
●みちのえきそうま
道の駅そうま
☎0244-37-3938 MAP P22E1
地元の特産品などが豊富に揃う直売所のほか、レストランなどもある。外観は相馬野馬追の陣屋をイメージ。
①相馬市日下石金谷77-1 ②JR日立木駅から車で3分 ③9時30分~18時、レストランは10時~15時30分LO(土・日曜、祝日は~16時LO) ④無休(臨時休館あり) ⑤70台



いわき
●いわきゆもとおんせん
いわき湯本温泉
☎0246-43-3017 (いわき湯本温泉旅館協同組合) MAP P22E4
1600年以上の歴史をもつ日本三古泉のひとつ。豊富な湯量を誇り、温泉街には多彩な宿が立ち並ぶ。
①いわき市常磐湯本町 ②JR湯本駅からすぐ



いわき
●すぱりぞーとわいはんず
スパリゾートハワイアンズ
☎0570-550-550 MAP P22E4
プールやお風呂が満喫できる巨大温泉テーマパーク。大興奮のポリネシアンショーも楽しみ。
①いわき市常磐藤原町藤平50 ②JR湯本駅から無料送迎バスで15分 ③3570円~ ④10時~(閉園時間は時期により異なる) ⑤全館休館日あり(公式サイトで要確認) ⑥4000台(有料)



すめ スポット

太平洋沿岸の浜通りは、
震災により甚大な被害を受けたが、
復興は着実に進展し輝きを取り戻している。



夫婦の思いが味み誇る
未来へつなぐ復興桜

南相馬

●みそつけどろ こうのくら
みそ漬処 香の蔵
☎0120-058-509 MAP P22E1

昭和15年(1940)に南相馬で創業した漬け物会社の直営店。豆腐やチーズなど現代の食文化に合う食材を使用した味噌漬けを販売する。一番人気の「クリームチーズのみそ漬」は、震災の年に発売を開始した商品で、とろける舌触りと味噌の風味が絶妙。

- ④南相馬市鹿島区永田北永田28-3 ⑤常磐自動車道南相馬ICから車で20分 ⑥9～18時
- ⑦無休 P20台
- ⑧地元で開催される相馬野馬追の甲冑館も併設



新しい和食文化を生み出す
長く愛される味噌漬け専門店

⑨お酒に相性抜群な「クリームチーズのみそ漬」

①ノメイヨシノや
オオヤマザクラが
山里をピンクに包む

桜見頃
4月中旬
～下旬

飯館

●さんぜんぼんのふっこうざくら
三千本の復興桜
☎0244-42-1620 (飯館村後場 村つり
推進課商工観光係) MAP P22E2

元養蚕農家のご夫婦が震災前から自宅の畑に植え続けた約3千本の桜が飯館村の春を彩る。原発事故に伴う避難指示が出された後も、避難先から自宅へ通い樹木の管理を継続。現在もボランティアとともに手入れを続け、「避難した住民が集える場所」を目指す。

- ④復興を願い、桜の下に立てた石碑
- ⑤飯館村伊丹沢笹ノ沢地内 ⑥東北中央自動車道霊山ICから車で30分 ⑦⑧自由散策 Pなし



葛尾村の自然に癒される
初心者でも安心な
キャンプ場

- ①時間を気にせずつるげるソロキャンプもおすすめ
- ④葛尾村葛尾敷井畑194 ⑤常磐自動車道浪江ICから車で45分 ⑥【宿泊】キャンプ・オートキャンプ3000円～、バンガロー6000円～ ⑦IN13時/OUT10時 ⑧12月～4月上旬※詳細は要問合せ P32台

葛尾

●もりもりらんど・かつらお
もりもりランド・かつらお
☎0240-37-4100 MAP P22E2

緑あふれる葛尾村森林公園内に5棟のバンガローと4区画のキャンプ場、22区画のオートキャンプ場がある。シャワー室やコインランドリーなど快適に過ごすための施設やキャンプに必要な道具をレンタルできる管理棟も設置。大自然のなかキャンプを満喫しよう。



④1000mのマウンテンバイクコースに挑戦

川俣

●かわまたおりものてんじかん
かわまたおりもの展示館
☎024-565-4889 MAP P22E2

川俣の絹織物の歴史や伝統技術が学べる、道の駅かわまた内にある体験学習施設。糸を紡ぎ織物になる工程で使用される機械や、美しいタペストリーなど絹製品の展示のほか、併設する「からりこ館」では昔ながらの手織りや草木染めなどの体験プログラムも開催。

- ④川俣町鶴沢東13-1 ⑤東北自動車道二本松ICから車で30分 ⑥入館無料 ⑦9～17時(最終入館は16時30分) ⑧月曜(祝日の場合開館、翌日休) P80台

本格手織り体験で
江戸から続く
川俣シルクを学ぶ



④コースター織り体験は初心者OK

双葉

●ふたばまちさんぎょうこうりゅうせんとー
双葉町産業交流センター
☎0240-23-7212 MAP P22F2

双葉町で最も早く避難指示が解除された中野地区にある、地域の復興のシンボルとして親しまれる複合施設。なみえ焼きそばなどのご当地グルメが味わえるフードコートやコンビニ、貸会議室、みやげ物店などがあるほか、屋上の展望台からは双葉町を一望できる。

- ④双葉町中野高田1-1 ⑤常磐自動車道常磐双葉ICから車で10分 ⑥9～18時 ⑦無休 P252台

⑧銘菓や双葉だるまなどみやげ物がズラリ



まよごころ機能一
双葉町を
特産品
ご当地グルメに

④双葉町の現在の復興の様子を望める

column 浪江町 伝統的工芸品

地域の暮らしに溶け込んだ
古きよき伝統工芸を守り継ぐ

浪江

●おぼりそうまやき
大堀相馬焼
☎0240-35-4917 (大堀相馬焼
協同組合) MAP P22F2

江戸時代から浪江町大堀地区に伝わる伝統的工芸品。「走り駒」「青ひび」「二重焼き」の3つの特徴をもつ。震災以前、20以上あった窯元のうち、約半数が県内で再開。道の駅なみえでは各窯元の作品を展示・販売するほか陶芸や絵付けなども体験できる。

- [大堀相馬焼協同組合(道の駅なみえ)]
- ④浪江町幾世橋知命寺40 ⑤常磐自動車道浪江ICから車で10分 ⑥10～17時 ⑦火・水曜 P103台

④陶芸教室は毎週土曜のみ開催(要電話予約)



④二重構造のため冷めにくく、手で持っても熱くない



浜通りおす



まちの暮らしをまよ
人と人をつなぐ
交流拠点

◎震災前から地元で
営業している店舗も多い

大熊 ●おおくまーと おおくまーと

URL <https://okumakouryu.jp/okumart>
MAP P22E3

たくさんの人が訪れる魅力的なまちを目指し、2021年に大熊町に誕生した複合商業施設。施設内には4つの飲食店とコンビニエンスストアや雑貨店、美容室、電気店、コインランドリーが揃い、地元の人だけでなく観光客も集う憩いの場となっている。

⇒弁当をテイクアウトしてテラス席で味わえる



◎大熊町大川原南平1207-1 ◎常磐自動車道常磐富岡ICから車で4分 ◎店舗により異なる ◎約120台

川内村のブドウワイン造り
地域を食で盛り上げる

川内 ●かわうちわいなりー かわうちわいなりー

◎0240-25-8868 MAP P22E2-3

2021年、地元ワインの醸造による川内村の復興に向けて阿武隈高地にオープンしたワイナリー。ワイナリー前に広がる約4haのブドウ畑で栽培された、川内村産ブドウを原料にした「ヴィラージュシリーズ」をはじめ味わい深く香り豊かなワインを醸造する。

◎川内村上川内大平2-1 ◎常磐自動車道常磐富岡ICから車で45分 ◎9～17時 ◎土・日曜、祝日 ◎16台
◎ヴィラージュメルロー2022(赤、辛口)がおすすめ



◎ワイナリー見学も人気 ※要問合せ



◎本物の化石や鉱物が発掘できる体験が人気
◎黒点や太陽表面のプロミネンスを観察

県内最大の反射式望遠鏡！
昼は太陽 夜は天体を観測！

田村 ●ほしのむらてんもんだい 星の村天文台

◎0247-78-3638 MAP P22E3

標高640mのあぶくま洞に隣接した天文台。口径65cmの反射式望遠鏡に搭載した太陽望遠鏡で日中の太陽を観察できるほか、プラネタリウムや化石鉱物発掘体験も開催する。毎週土曜には夜間公開も実施。土星や木星、季節の星座を望遠鏡でのぞいてみよう。

◎田村市滝根町神保塚60-1 ◎磐越自動車道小野ICから車で20分 ◎プラネタリウム・反射式望遠鏡見学各500円 ※詳細は要問合せ ◎10～17時(10月～3月末は～16時) ◎火曜(11～3月は火・水曜) ◎225台



◎夜間は桜並木のライトアップも開催

桜見頃
4月上旬

富岡 ●よのもりちのくのさくらなみき 夜の森地区の桜並木

◎0240-22-2111(富岡町産業振興課商工観光係)
MAP P22F3

富岡町・夜の森地区に植えられた約420本のソメイヨシノが例年4月上旬頃に咲き誇る。原発事故により地区の大半が帰還困難区域になっていたが、2022年1月に特定復興再生拠点区域の立ち入り規制が緩和され、全域で楽しめるように。震災前のような賑わいを少しずつ取り戻している。

◎富岡町夜の森北2-23-18 ほか ◎JR夜ノ森駅から徒歩5分 ◎自由散策 ◎300台(リフレ跡地、リフレ駐車場、総合グラウンド駐車場数含む)

住民の帰りを祝う
樹齢100年の桜並木

◎桜のトンネルは全長2.2kmにおよぶ



福島の希望が詰まった
奇跡のバナナが生まれた

広野 ●ひろのまちなこうこうしゃ (株) 広野町振興公社

◎0240-23-7704 MAP P22F3

東日本大震災以降休止中だった二ツ沼総合公園内の園芸ハウスを利用しバナナを栽培。バナナの苗に氷河期を疑似体験させる「凍結解凍覚醒法」を用いて苗に耐寒性を付け、東北・福島での栽培を成功させた。農業不採用で栽培・出荷されるため皮ごと味わえる。

◎広野町下北迫大谷地原65-3 ◎常磐自動車道広野ICから車で5分 ◎9～16時 ◎月曜(祝日の場合営業) ◎700台(二ツ沼総合公園の南駐車場を利用)

◎園芸ハウスは9～16時まで見学可能 ※月曜は休み

◎露天風呂は屋根があり天候問わず楽しめる



大平洋を自派せる
秘湯温泉で
のびのびリラックス

榴葉

●てんじんみさきおんせんしおかぜそう 天神岬温泉しおかぜ荘

◎0240-25-5726 MAP P22F3

天神岬スポーツ公園の一角にある日帰り温泉施設。露天風呂やジェット風呂など7つの温泉を備え、太平洋を望みながらゆったりとくつろげる。泉質は黄金色の塩化物泉で、神経痛や皮膚病などにも効果があるそう。マッサージや宿泊などもできる。

◎榴葉町北田上ノ原27-29 ◎常磐自動車道広野ICから車で15分 ◎入浴700円 ◎10～21時(最終受付は20時30分) ※木曜は15時30分～ ◎木曜10時～15時30分(麺コーナーは木曜休) ◎100台

◎麺コーナーで味わえる濃厚なとんこつ醤油ラーメン。お風呂上がりにおすすめ



◎青いまま収穫し、追熟設備のなかで熟成させる

東日本大震災

震災伝承施設

はやわかりガイド



P11~21では「るるぶ 特別編集 東日本大震災伝承施設ガイド」に掲載されている福島県内の震災伝承施設の情報を探しています。

Q 復興庁 伝承施設ガイド 検索



被災地を訪れ、
学びに
つなげよう

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、太平洋沿岸地域は甚大な被害を受けました。震災の教訓を伝え、未来の命を守るため、福島県内の震災伝承施設や慰霊・追悼の場を巡って、学ぶ旅に出かけてみませんか？



東日本大震災・原子力災害伝承館 (P15)



みんなの交流館ならは CANVAS (P18)

展示や遺構など多角的に学べる

「震災伝承施設」としてもタイプはさまざま。パネル展示や映像をまとめた資料館や、被災した建物をそのまま保存し公開する震災遺構、犠牲者を追悼する慰霊碑などがあります。また各施設や地域によって扱うテーマも違うので、いろいろな角度から学ぶことができます。



復興フラッグ広場 (P11)

「3.11伝承ロード」として訪れやすい工夫も

3.11伝承ロードリーフレット



点で存在している震災伝承施設を「3.11伝承ロード」としてネットワーク化。青森・岩手・宮城・福島の各県ごとにまとめられたリーフレットでは、イラストマップとともに施設が一覧化され、目的や時間に応じて効率的に施設同士を訪れやすいように紹介されています。

▶ 3.11伝承ロード推進機構HP
<https://www.311densho.or.jp/>



とみおかアーカイブコミュニティルーム (P16)

震災伝承施設とは？



福島市伝承鎮魂祈念館 (P12)



いわき震災伝承みらい館 (P21)

語り部などから直接お話を聞くことも

震災伝承施設として登録されている多くは、施設ガイドや語り部プログラムを提供し、来訪者の理解をより助けてくれます。公共交通や車でアクセスでき、大型バスの受け入れが可能な施設も多く、教育旅行にも活用されています。

プランニングのコツ

道の駅や観光施設も一緒にまわって地域を知ろう

震災伝承施設の周辺には、新しく道の駅が整備されたり、観光商業施設がオープンした場所もあります。地域の特産物を味わい、地域の人々と交流し、地域を知ることも大切です。震災伝承施設だけではなく、積極的に地域観光も楽しみ

福島県の観光情報はコチラ
● 福島県ははやわかりガイド → E6

宿泊施設は少なめ。事前予約がマスト

東北の被災地域は震災以前から宿泊施設が少ないエリアでしたが、震災の影響などで閉鎖された施設もあります。事前に宿を予約するのが安心です。また万が一の場合を想定し、宿泊先に到着したら避難ルートを確認するようにしましょう。

アクセスは車がベター。公共交通は本数に注意

東北の被災沿岸部は公共交通で訪れることも可能ですが、比較的本数は少なめ。時間に制約なく、自由にまわりたいなら車がオススメです。多くの施設では駐車場が整備されています。比較的大きい街であれば、新幹線から乗り継いで電車やバスで行くのも便利です。

しっかりまわるなら1日3~4カ所

施設の大半は太平洋沿岸部にあり、なかには徒歩圏内の距離に施設が集まっているエリアも。展示施設や震災遺構、慰霊・追悼の場などさまざまな施設を巡ることで、多角的に震災を学ぶことができます。マップなどを参考にしながら訪れる施設を選びましょう。

●しんちまち
新地町

●SHINJICHIMACHI
復興フラッグ広場

被災者を勇気づけた復興の旗をシンボルに

最大震度 6強
浸水面積 9.4km²注①
最大浸水深 8.73m

全壊 474棟注①
半壊 156棟注①
一部損壊 669棟

死者 119人注②
行方不明者 注①
負傷者 3人

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

新地町の被害状況



カ ラフルで元気が湧いてくるこの旗は、釣師防災緑地公園にある新地町復興のシンボル。地元のパイク愛好家が、釣師地区のがれきりの中から発見された日章旗のことを知り、復興のシンボルとして、新たに旗を作って掲げたのが始まりです。地域の人々を勇気づけたその活動が評判をよび、応援メッセージなどをデザインした旗のもとに、パイク専用駐車場が整備されることになりました。

復興フラッグ管理団体のリバイバルFによる語り部活動も行われています。復興フラッグの成り立ちから現在に至るまでの復興の様子などを聞くことができます、より学びが深まります(無料、要予約)。

また復興フラッグ広場のある釣師防災緑地公園自体も震災を伝承していく場所。パークセンターには被災前の釣師地区のジオラマ模型や新地町における震災年表パネルの展示もあるので、ぜひ立ち寄ってみましょう。

復興フラッグ広場は釣師防災緑地公園内にある。579台を収容できる駐車場があり、オートキャンプ場やバーベキュー場などが整備されている。海岸近くにあるため、海水浴も楽しめる



パイク専用駐車場が整備された復興フラッグ広場。バイクスタンド置きには、缶を潰したデザインに復興フラッグの図柄が施されている。車なら釣師防災緑地公園の駐車場を利用できる



考えてみよう

Q1 震災後に作られた旗をきっかけに震災伝承施設に認定された復興フラッグ広場。復興フラッグが担う役割を考えてみましょう。

Q2 広場がある釣師防災緑地公園は津波などの災害に強いまちづくりを進めるために整備されました。どのような防災機能が期待されているでしょう?



「頑張ろう」「新地が好きだから」などのメッセージが書かれた復興フラッグ。公園内のパークセンターには、新地町の震災・復興年表や震災前の釣師地区のジオラマ模型などが展示されている

その他 (メニューメント)

施設ガイド ※要予約
語り部あり ※要予約
車椅子OK

施設DATA

●ふっこうふらっくひろば
復興フラッグ広場
☎ 0244-62-2730 (釣師防災緑地公園) MAP P22E1

①新地町各地小屋釣師 (釣師防災緑地公園内)
②常磐自動車道新地ICから車で13分
③見学自由 (公園は9時30分～17時30分、12～3月は～17時)
④見学自由 (公園は火曜 ※祝日の場合は翌日)
⑤見学自由 (公園でのキャンプやBBQなどは別料金)
⑥あり (バイク専用、車は公園駐車場を利用)
<https://revivef.wixsite.com/revivalf>

東日本大震災
震災伝承施設

① 被災者に勇気を与えとともに震災の記憶と教訓を伝承している。自衛隊がみつけた日章旗が多くの人々の想いをつないで応援と希望のシンボルへと生まれ変わった。
② 津波エネルギーの減衰、浸水被害範囲の軽減、避難時間の確保などさまざまな防災機能が期待されている。
注① 出典：新地町・震災と復興 50年後の新地人へ、平成26年3月31日、新地町
注② 出典：同資料 (2020年2月1日更新値)

この地を初めて訪れる人にとっては「かつての相馬の姿を知らせ」、大切な人を亡くした遺族には「思い出と祈りを込めた心の拠り所に」、そんな施設を目指して設立されました。

館内には、津波により被災した相馬市原釜・尾浜地区、磯部地区の震災前の風景写真が展示されており、震災当日の映像記録なども見ることが出来ます。さらに、ボランティアの協力により収集・復元された、持ち主不明の写真を多数展示。この地で生きた人々の記憶が失われてしまわないように保存されています。

同館の隣には慰霊碑が立ち、おり、表面には地域の津波犠牲者の芳名、裏面には被災状況を記した碑文が刻まれています。鎮魂と追悼、後世への伝承。そして、失われてしまった郷土の記憶。ここを訪れる人々が語り合い交流することで、命の大切さや災害に備える力と心を養います。

この地を初めて訪れる人にとっては「かつての相馬の姿を知らせ」、大切な人を亡くした遺族には「思い出と祈りを込めた心の拠り所に」、そんな施設を目指して設立されました。

館内には、津波により被災した相馬市原釜・尾浜地区、磯部地区の震災前の風景写真が展示されており、震災当日の映像記録なども見ることが出来ます。さらに、ボランティアの協力により収集・復元された、持ち主不明の写真を多数展示。この地で生きた人々の記憶が失われてしまわないように保存されています。

同館の隣には慰霊碑が立ち、おり、表面には地域の津波犠牲者の芳名、裏面には被災状況を記した碑文が刻まれています。鎮魂と追悼、後世への伝承。そして、失われてしまった郷土の記憶。ここを訪れる人々が語り合い交流することで、命の大切さや災害に備える力と心を養います。



館内正面には、相馬市の死者・行方不明者の芳名が記された追悼場所が設けられている。遺族や友人・知人、関係者のほか、視察などで訪れる人が追悼の祈りを捧げる姿が見受けられる



伝承鎮魂祈念館の隣には、津波による死者・行方不明者の慰霊碑が立てられている。祈念館、慰霊碑ともに、犠牲者を悼み、過去を記録し、未来に伝えることを目的に整備された



潮干狩りなどでにぎわっていた震災前の風景などを写真で展示。ガイド付きの相馬市復興視察ツアー（④プランにより異なる）のほか震災語り部の講話（④1団体3000円）も行っている。相馬市観光協会ホームページで確認を

●そうまし
相馬市

●そうましでんしょうちんこんきねんかん
相馬市伝承鎮魂祈念館

犠牲者に祈りを、今を生きる人々に安心を



最大震度 6弱

浸水面積 29km²

最大浸水高 14.49m



全壊 1,004棟

半壊 833棟

一部損壊 3,397棟



死者 466人

行方不明者 19人

負傷者 11人

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

東日本大震災
震災伝承施設

展示

交流拠点

施設ガイド

※要予約

語り部あり

※要予約

車椅子OK

施設DATA

●そうましでんしょうちんこんきねんかん

相馬市伝承鎮魂祈念館

☎ 0244-32-1366 MAP P22E1

④相馬市原釜大津270

④常磐自動車道相馬ICから車で15分

④9～17時

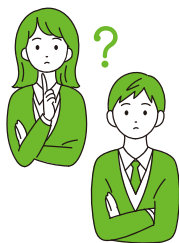
④無休

④無料

④あり(大型バス:あり)

? ? 考えてみよう

Q1 施設内に災害
災難除けの聖
者タルタン・ギャルボ
の銅像を展示してい
ます。どのような由来
があるのでしょうか?



A1 ブータン国王から贈られた像。平成23年(2011)11月にブータン国王夫妻が相馬市を訪問したのがきっかけ。



象庁は地震が発生した14時46分の3分後に津波警報を発表しましたが、南相馬市の沿岸地域に津波が到達したのは、15時35分ごろと推定されています。観測機器が破壊されたため津波到達高の正確な数値は不明ですが、大きな津波が押し寄せ、多大な被害に見舞われました。津波は何度も襲来し、浸水被害は地域の10%に達しました。失われた人命は1000人を超え、全半壊などの住家被害も相当な数にのぼりました。浜通り地方で最も人的被害が大きかったのが南相馬市です。南相馬市メモリアルパークは震災の記憶を後世に伝承していく場所として、また鎮魂・慰霊の場所として、2021年4月にオープンしました。海を眺められる高台に位置し、津波到達高モニュメントや記録碑が立てられています。海との距離や津波の高さに注目しましょう。災害への備えの大切さを理解できるはずですよ。

遺族の同意を得られた約800人の芳名が刻まれた記録碑が被害の大きさを伝える。市は原発事故による複合災害にも遭っており、現在は「100年のまちづくり」をスローガンに地域復興に取り組んでいる



右側に見えるのが、この地区の津波到達高を示すモニュメント。メモリアルパーク自体が10mほどの小高い丘になっており、モニュメントの中央に津波到達高11.1mを示すラインが入っている



メモリアルパークがある北泉海浜総合公園の震災前と被災時の様子もパネルで展示。被害の規模なども記載して後世に伝えている。津波発生時の緊急避難場所になっており、車椅子でも高台に上ることができる

●みなみそうまし

南相馬市

南相馬市メモリアルパーク

●みなみそうましめもりあるぱーく

海を望む高台から震災の記憶をつなぐ



最大震度 6弱

浸水面積 40.8km²注①

最大浸水深 17.75m



全壊 2,323棟

半壊 2,430棟

一部損壊 3,718棟



死者 1,156人

行方不明者

負傷者 59人

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは進捗資料の通りに掲載

慰霊碑公園

車椅子OK

施設DATA

●みなみそうましめもりあるぱーく

南相馬市メモリアルパーク

☎ 0244-24-5251 (南相馬市都市計画課) MAP P22F2

⑤南相馬市原町区北泉地藏堂地内

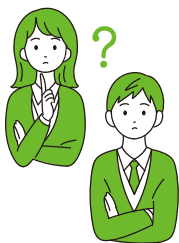
⑥常磐自動車道南相馬ICから車で18分

⑦⑧見学自由

⑨あり(大型バス:なし)

考えてみよう

Q1 南相馬市メモリアルパークは住宅跡地を10mかさ上げて造られました。高台に整備された意味について考えてみましょう。



A1 津波襲来時の緊急避難先としても機能させるため。また、海を見ながら津波の規模を体感してほしいから。

注①出典:東日本大震災とその後 南相馬市の現況と発展に向けた取組,令和4年9月,南相馬市

●なみえまち

浪江町

浪江町の被害状況

	最大震度	6強
	浸水面積	6km ²
	最大浸水深	15.5m
	全壊	772棟
	半壊	2,384棟
	一部損壊	154棟
	死者	594人
	行方不明者	31人
	負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

津波に襲われた福島県内唯一の震災遺構

震災遺構浪江町立請戸小学校

●しんさいいこうなみえちょうりつうけどしょうがっこう

東日本大震災
震災伝承施設

3月11日午後4時近く、浪江町請戸漁港を巨大津波が襲いました。観測機器が破損したため津波の高さは計測不能ですが、請戸小学校の体育館の壁などには、15mを超える高さに津波の痕跡が残されています。請戸小学校は、震災当時の姿をそのまま残しています。1階は津波の直撃を受けて破壊されましたが、2階はベランダの壁に遮られて浸水を免れることができました。

発災後、津波の襲来を予想して、請戸小学校の教師や子どもたちは避難を始めました。先生が先導し、上級生は下級生の手を引いて励ましながら、大平山へと向かいました。指定されていた避難場所ではなく、機転を利かせて大平山に逃れたことで、先生も子どもたちも全員が助かりました。しかしその後、原発事故による避難を余儀なくされ、今も約9割の町民が県内外で生活を送っています。

*2020年1月現在



2階にある管理棟展示室。賑やかに学び、遊んでいた子どもたちの姿などがパネルで紹介されている。震災当時の避難の様子を伝えるパネルもあり、津波の際の行動や判断の大切さを知ることができる



請戸小学校は海岸から300mほどの距離で、15mを超える津波の直撃を受けることになった。2階のベランダの壁には、津波到達点の表示が掲げられている。素早い避難で先生と子どもたちの命が救われた



1階の見学通路。各教室は津波の直撃を受けて、壁も天井も、剥がされるように流された。傷が付き、傾いたまま、かろうじて残った備品なども震災当時のまま。津波の破壊力の凄まじさに驚かされる

震災遺構

車椅子OK

施設DATA

●しんさいいこうなみえちょうりつうけどしょうがっこう
震災遺構浪江町立請戸小学校
☎0240-23-7041 MAP P22F2
📍浪江町請戸持平56
🕒常磐自動車道浪江ICから車で20分
🕒9時30分～16時30分(最終入館は16時)
🕒火曜(祝日の場合は翌日)
🕒300円、高校生200円、小・中学生100円、未就学児無料
📶あり(大型バス:あり)
<https://namie-ukedo.com>



考えてみよう

- Q1 請戸小学校の先生と子どもたちは、全員が山に避難して助かることができました。どのくらいの時間で避難できたと思いますか？
- Q2 指定されていた避難場所ではなく、大平山に避難した先生と子どもたち。なぜ本来の避難場所ではない山に避難したのでしょうか？

A1 約1時間で全員が山頂に到着。パネルで避難時の様子を詳細に伝えている。

A2 指定避難場所へ続く道路は避難する車で混雑しており、また生徒数も多かったため、大平山への避難が安全と考えた。



語り部活動にも力を入れており、常設展示室内で1日4回、講話を開催。それぞれ異なる観点から震災当時の避難の状況や災害に対する備えの大切さなどを伝えています。さらに、福島イノベーション・コースト構想など被災地域の未来についても詳しく紹介しているのも特徴です。

地 震、津波、原発事故という複合災害に直面して福島県の被災地域がどのような被害を受け、住民がどのような避難生活を送ったのか。東日本大震災・原子力災害伝承館では、事故直後の東京電力福島第一原発の模型などを通して、詳しく紹介しています。同館には震災前の地域の暮らしを示す資料や発災後の被害に関する資料など約27万点を収蔵。そのうち約200点が常設展示室で展示されています。順路に沿って歩けば地震の発生から津波、原発事故に至るまでの経緯がわかり、避難する過程や避難後の生活なども理解できます。

東日本大震災・原子力災害伝承館

福島で何が起こったのか複合災害を伝える

双葉町

●ふたばまち

双葉町の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	3km ²
最大浸水深	16.5m
全壊	103棟
半壊	14棟
一部損壊	1棟
死者	175人
行方不明者	4人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

東日本大震災
震災伝承施設

館内は6つのブースで構成されている。原発事故の原因を解説する映像や事故直後の東京電力福島第一原発を再現した模型をはじめ、複合災害について考えるきっかけとなる資料を豊富に展示



地震、津波、原発事故の発生当時の映像やアニメーションを組み合わせ、複合災害について伝える「プロログ」。ナレーションは福島県出身の俳優・西田敏行さんが務めている



除染作業に関する展示、米の全量全袋検査模型や甲状腺検査機器の展示のほか、住民の体験談など原子力災害について詳しく紹介。原発事故後1週間の出来事を映像で見ることもできる

考えてみよう

- Q1** 館内には防護服や除染土などを入れる袋「フレコンバッグ」も展示されています。除染土の処分の課題について考えてみましょう。
- Q2** 館内には、地震により落下した富岡高校体育館の照明器具も展示されています。この展示にはどのようなメッセージがあるのでしょうか。

展示 交流拠点

- 施設ガイド
- 語り部あり
- 車椅子OK

施設DATA

●ひがしにほんだいしんさい・げんしりょくさいがいいでんしょうかん
東日本大震災・原子力災害伝承館
☎ 0240-23-4402 MAP P22F2
⑤ 双葉町中野高田39
ⓧ 常磐自動車道常磐双葉ICから車で10分
🕒 9～17時(最終入館は16時30分)
🔥 火曜(祝日の場合は翌平日)
💰 600円、小・中学生・高校生300円、未就学児無料
🚗 あり(大型バス:あり)
<https://www.fipo.or.jp/lore/>



A1 除染土を福島県外で最終処分する候補地が決まっていないため、A2 大型の照明器具が落下するほどの大地震だった。東京五輪パドミントン混合ダブルスで銅メダルを獲得した渡辺勇大選手・東野有紗選手が震災当時、その場で練習しており、命の危機を感じたという。



震災遺産のコーナーでは、動かなくなった時計など現物を展示。希望すれば学芸員の展示解説を無料で受けられます。複合災害の現実と、対策の重要性を身近に感じられるように工夫された展示内容です。

震災遺産のコーナーでは、動かなくなった時計など現物を展示。希望すれば学芸員の展示解説を無料で受けられます。複合災害の現実と、対策の重要性を身近に感じられるように工夫された展示内容です。

震災遺産や歴史資料、民具などを保管する収蔵庫や整理作業室なども見学できる。館内のすべてを見て回るなら1時間30分ほど。学芸員がすべて解説するフルアテンドなら3時間程度かかるという



1階展示室。前半は古代から現代に至る富岡町の歴史や文化の資料を展示し、紹介している。後半は映像と震災遺産を多数展示し、被害の大きさを伝える。町の特徴が学べるワークショップや体験会も開催



津波にのみれ河口付近で発見されたバトカー。震災当時2人の警官が乗っており、住民の避難誘導にあたったが殉職。県警や遺族の理解、住民有志の協力を得て展示されている

●とみおかまち

富岡町

とみおかアーカイブ・ミュージアム

●とみおかあーかいぶ・みゅーじあむ

町の歴史や文化を伝えるとともに、震災遺産を紹介

富岡町の被害状況



最大震度 6強

浸水面積 1km²

最大浸水深 21.1m



全壊

355棟

半壊

2,819棟

一部損壊

2,130棟



注①

死者

479人注②

行方不明者



負傷者

不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

東日本大震災
震災伝承施設

展示

交流拠点

施設ガイド

音声ガイド

車椅子OK

施設DATA

●とみおかあーかいぶ・みゅーじあむ

とみおかアーカイブ・ミュージアム

☎ 0240-25-8644 MAP P22F3

📍 富岡町本岡王塚760-1

🚗 常磐自動車道常磐富岡ICから車で10分

🕒 9~17時(最終入館は16時30分)

🌙 月曜(祝日の場合は翌平日)

🆓 無料

🚗 あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 富岡町では震災時の時計を多く保存しました。展示されている時計が、さまざまな時間で止まっているのはなぜでしょうか?

Q2 震災以前の富岡町の特徴・成り立ちに関する展示が50%を占めている同施設。なぜこのような展示構成なのでしょう?

A1 地震で止まったり、津波で止まったり、さまざまな理由があげられる。 A2 大規模災害の結果はその地域の歴史や文化と切り離せないとの考えから。

注① 2023年2月28日、富岡町生活環境課まとめ 注② 関連運を含むうち行方不明者6人

双葉郡は浜通り地区に位置し、**広野町・檜葉町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・川内村・葛尾村**の6町2村で構成されています。この地域では津波による犠牲者が出ただけでなく、原発事故により大勢の人が避難を余儀なくされました。しかし原発事故から12年が経った今、避難指示が徐々に解除され、郡内の人々の暮らしも少しずつ戻り始めています。

ふたばいんふおでは、そうした郡内の状況を伝えるため、震災や原発事故の経緯などを記録。行政などの最新情報を発信するほか、語り部ガイドなども実施しています。語り部ガイドは、予約時に見たい場所や知りたいことを伝えると、希望に沿ったルートで案内してくれます(要予約・問合せ)。

また地元住民が一時帰宅する際に必要な情報を提供したり、交流したりできるなど、地域の絆を保つ施設としても機能しています。



ランチやコーヒーを楽しめるcafe135(カフェひさご)を併設する民営の施設。資料や書籍などは自由に閲覧可能で、コワーキングスペースとしても利用されている。双葉郡の名産品・グッズを取り揃えるおみやげコーナーも



85型の大型モニターが設置され、8町村の過去から現在に至る歩みや四季の風景を見ることができる。各町村が配信している情報も常時放映。共有スペースにはパネルが展示されている



スタッフが集まり議論を重ね、どんな情報を発信し、どんなイベントを開催するかを検討する。常に住民の目線で物事をとらえて発信している。展示も民営施設ならではの工夫に満ちている

考えてみよう

Q1 双葉郡8町村の情報発信センターとして写真や映像などを公開しているふたばいんふお。各町村ごとにまとめられた展示内容にはどのような思いが込められているのでしょうか?

A1 双葉郡8町村は原発事故による被災地の中心だが、復興のスピードはそれぞれの町村ごとに異なる。その違いを知ってほしい。

とみおかまち
富岡町

ふたばいんふお

双葉郡の最新情報を伝える交流施設

富岡町の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	1km ²
最大浸水深	21.1m
全壊	355棟
半壊	2,819棟
一部損壊	2,130棟
死者	472人
行方不明者	6人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

- 施設ガイド
- 語り部あり ※応相談
- 車椅子OK

施設DATA

●ふたばいんふお
ふたばいんふお
☎0240-23-6612 MAP P22F3
①富岡町小浜中央295
②常磐自動車道常磐富岡ICから車で10分
③11~18時
④不定休(夏期・冬期休館あり)
⑤無料
⑥あり(大型バスは近隣の駐車場を紹介)
https://futabaainfo.com





同館は、町の中心部に位置する笑ふるタウンならは内にあります。北・西・南面はガラス扉で開閉できるようになっており、屋内外を一体にできるオープンスペースとしてイベントなどにも利用できます。料理教室や趣味のサークルなどさまざまなことに挑戦でき、地域の人々が交流し支え合う、心の拠りどころとなっています。

施設は2階建てで、趣味のサークル活動などに利用できるよう、21時まで開館している。晴れた夕方には2階から檜葉町の夕日を見ることがも。町民以外でも入館できるので立ち寄ってみよう



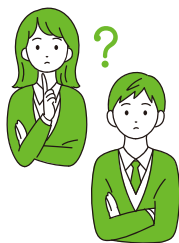
自由に使える「みんなのリビング」。くつろいだり、待ち合わせをしたり、町民が気軽に立ち寄れるようになっている。仕切りがあるので、それぞれ独立した利用も可能。椅子に座れるテーブル席もある



館内の一部には津波で流された柱などを使用。震災当時や避難中、避難指示解除後の暮らしの変化などを聞くことができる語り部も行う(☎0240-23-6771(ならはみらい)、所要60分、📄7500円※1カ月前までに要予約)

考えてみよう

Q1 この施設は全9回のお茶飲みワークショップを経てオープンしました。施設の名前にはどのような意味が込められているのでしょうか？



A1 施設の可能性や使う人の「CAN=できる」をかなえる場所にしたい。真っ白なキャンバスに、それぞれの「できる」を描ける施設を目指して「CANvas」と名付けられた。

●ならはまち

檜葉町

みんなの交流館ならはCANvas

●みんなのこうりゅうかんならはきゃんばす

町に暮らす人が自由な発想で利用する施設



最大震度 6強
浸水面積 3km²
最大浸水深 10.5m^{注①}



全壊 147棟
半壊 1,218棟
一部損壊 289棟



注①
死者 26人
行方不明者



負傷者 2人

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

東日本大震災
震災伝承施設

展示
交流拠点

施設ガイド

※要予約

語り部あり

※要予約

車椅子OK

施設DATA

●みんなのこうりゅうかんならはきゃんばす

みんなの交流館ならはCANvas

☎0240-25-5670 MAP P22F3

📍檜葉町北田中満260

🚗常磐自動車道広野ICから車で10分

🕒9~21時

🔥第2・4火曜

🆓無料(共用スペースの占有利用は有料)

🚗あり(大型バス:なし)

https://naraha-canvas.com



注①出典: 檜葉町災害記録誌第1編, 平成26年12月, 檜葉町

日 本初のサッカー・ナショナルトレーニングセンターとして平成9年(1997)にオープン。JリーグやW杯日本代表のサッカー選手が合宿で利用するなど、スポーツ選手をはじめ県内外から多くの人が訪れる人気の施設となりました。

東日本大震災では津波の被害は受けなかったものの、原発事故により施設は休止。震災直後から約8年間にわたり原発事故収束の拠点となったのです。ピッチの上に車や鉄板が置かれるなど景色は一変。営業の再開を願う日々が続きました。

全面再開は2019年4月から。福島復興のシンボルとして従来の施設のリニューアルに加え、全天候型練習場とホテルが新設されました。さらにセンターハウス1階では、開業時から全面再開までの歩みをパネルで展示。4階展望ホールでは「Jヴィレッジの軌跡」などの映像コンテンツを見ることが出来ます。



東日本大震災
震災伝承施設

センターハウス1階に設置された「J-VILLAGE STREET」。開業から一部営業再開を経て、2019年の全面再開までの歩みが紹介されている。Jヴィレッジは東京五輪の聖火リレー出発地にも選ばれた



東京電力福島第一原発の事故収束の対応拠点となった。サッカー練習施設だったJヴィレッジは、営業休止の間、ピッチは駐車場となり、敷地内には原発作業員向けのプレハブ宿舎が並んだ



東京ドーム約10個分の広さを誇る。天然芝や人工芝のピッチが用意されているほか、プールやフィットネスジム、アリーナ、屋内練習場、ホテルなどを備えた東北屈指の施設となっている

考えてみよう

Q1 震災から約8年もの間、休業を余儀なくされたJヴィレッジですが、休業中は原発事故の収束拠点としてどのように利用されていたのでしょうか?

A1 ピッチは原発の事故処理にあたる人々の駐車場になった。そのほか、屋外・屋内ともに建設資材や食品などの物資置き場としても利用された。

●ならはまち
楡葉町

楡葉町の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	3km ²
最大浸水深	19.74m
全壊	147棟
半壊	1,218棟
一部損壊	289棟
死者	152人
行方不明者	2人
負傷者	5人

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

●なしよなるとれーにんぐせんたーじえいういれつじ
原発事故収束拠点を経て2019年に再開

National Training Center J-VILLAGE

その他

(スポーツ施設)

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●なしよなるとれーにんぐせんたーじえいういれつじ

National Training Center J-VILLAGE

☎ 0240-26-0111 MAP P22F3

📍 楡葉町山田岡美シ森8

🚶 JRJヴィレッジ駅から徒歩5分

🏠 休館施設により異なる(ホームページで確認)

🅐 あり(大型バス:あり)

https://j-village.jp





町は駅東地区の防災力を高めるため、海岸堤防や県道とともに、ひろの防災緑地を整備。その敷地には、震災の記憶を風化させないようにと震災記念公園が造られました。記念碑には被害状況や、原発事故による全町避難を経て復興・再生へと歩んだ経緯が記されています。また鹿嶋神社が隣接しており、記念碑の前には井戸の跡を残すなど、浜街道の宿場町として栄えた歴史も同時に伝えていきます。

写真右手前から、高さ8.7mの防潮堤、高さ10.5mの県道、高さ10.7mの防災緑地の多重防御で整備。地元有志などによるサポーターズクラブを結成し、県や町と協定を結んで、維持管理や利活用などを行っている



双 葉郡の最南端に位置する広野町には、震災時に推定9m以上の津波が押し寄せました。また東京電力福島第一原発の事故により、3月13日に町独自の避難指示を発令し、全町避難を経験。その後、第二原発から半径20〜30km圏内に含まれる町全域は、緊急時避難準備区域に指定されましたが、解除後は震災時に約5500人だった人口が徐々に戻りはじめ、2019年には約4200人まで戻っています。



緊急時避難準備区域の解除から、2019年には9割の町民が帰還し、生活を再建。立地を生かし、幼児教育から高等教育までを隣接で行う教育の丘の整備や、駅周辺の再開発など、町もどんどん活気を取り戻した



全長約2kmにおよぶひろの防災緑地は、全体盛土量約38万㎡で、クロマツ、クヌギ、コナラが約6万本植栽されている。過去には、全国から500人を超えるボランティアが参加した苗木の植樹祭も実施された

●ひろのまち

広野町

広野町震災記念公園

●ひろのまちしんさいきねんこうえん

防災緑地の一面に残る震災の記憶



最大震度 6弱

浸水面積 2km²

最大浸水深 9.08m



全壊 160棟

半壊 593棟

一部損壊 3,244棟



死者 49人

行方不明者



負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

東日本大震災
震災伝承施設

？ ？ 考えてみよう

Q1 地域ぐるみで大きな森をつくろうと、サポーターズクラブではとあるプロジェクトを主催しました。町内で木の実を拾い、それをポットに植え付け、育てた苗木を小学生と植樹。地域に親しまれ、子どもたちの遊び場となるような緑地にすることが目的でした。防災緑地で今も元気に育っている、その木の実とは何でしょうか？

A1 どんぐり。このプロジェクトは「どんぐりプロジェクト」とよばれ、防災や環境の大切さを学ぶ機会として多くの人が参加した。

感霊碑 公園

車椅子OK

施設DATA

●ひろのまちしんさいきねんこうえん

広野町震災記念公園

☎ 0240-27-2111 (広野町総務課) MAP P22F3

📍 広野町下浅見川字本町3

🚶 JR広野駅から徒歩11分

👤 見学自由

🚗 あり(大型バス:なし)

注① 出典: 福島県広野町東日本大震災の記録Ⅳ ふる里“幸せな帰町”復興・創生への道のり、令和3(2021)年8月11日、広野町



館内では、震災発生から現在までの状況をテーマごとにパネルで展示。大画面で津波や復旧・復興の様子をまとめた映像を見られるほか、断層の剥ぎ取り標本など多様な方法で地震や津波、原子力災害の恐ろしさを学べるよう工夫されています。さらに毎週土・日曜、祝日には、いわき語り部の会員による震災語り部(定期講話(無料))を開催。体験談を通して、復興への歩みと災害への備えを詳しく知ることができます。

福 島県浜通り地区は、東日本大震災で震度6を超える揺れに見舞われただけでなく、津波被害も大きく受けました。さらに、原発事故が追い打ちをかけ、三重苦ともいえる状況でした。いわき市もまた、そうした町のひとつです。

いわき震災伝承みらい館は震災の記憶や教訓を伝え、防災意識などの向上を図ることを目的として、2020年5月にオープンしました。

屋外での語り部プログラムも行われている。施設近くの海岸だけでなく、周辺施設や地域を含め案内してくれる。60分ほどのモデルコースがあるほか希望に応じた内容に変更することもできる



展示室には200インチ大画面が設置され、市内を襲った津波映像などを見ることができる。そのほか震災発生時や避難所生活をシミュレーションして学べるタッチパネル展示や防災グッズなどの体験展示もある



多目的学習室では語り部による講話も開かれる。小学生の多くは震災を体験しておらず、語り部は重要な教育のひとつ。土・日曜、祝日の定期講話(無料)のほか、ガイドツアー形式の講話(有料)などがある

●いわきし

いわき市

いわき震災伝承みらい館

●いわきしんさいでんしゅうみらいかん

展示や語り部講話などで災害への備えを伝える



最大震度 6弱

浸水面積 15km²

最大浸水深 8.57m注①



全壊 4,644棟
半壊 32,921棟
一部損壊 26,004棟



注②
死者 468人
行方不明者

負傷者 不明

いわき市の被害状況

※被害状況のデータについては、注釈がないものは裏表紙に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

語り部あり

車椅子OK

施設DATA

●いわきしんさいでんしゅうみらいかん

いわき震災伝承みらい館

☎ 0246-38-4894 MAP P22E4

住 いわき市薄磯3-11

交 常磐自動車道いわき中央ICから車で30分

時 9～17時(最終入館は16時30分)

休 月曜(祝日の場合は翌平日)

料 無料

備 あり(大型バス:あり)

https://memorial-iwaki.com



考えてみよう

Q1 卒業式当日に津波被害にあった中学校の黒板、机、時計などの現物展示をしていますが、なかでも旧豊間中学校のグランドピアノは「奇跡のピアノ」とよばれ注目を集めました。その理由はなぜでしょうか?



A1 津波に襲われながらも、市内の調律師らによって修復され見事復活。紅白歌合戦などさまざまな場所での演奏に使用された。

注① 出典:ふるさとの復旧・復興・創生を未来に紡いで
-いわき市・東日本大震災の10年、令和3年3月、いわき市

注② 出典:いわき市災害対策本部
週報、令和5年2月15日、いわき市

太平洋ヨリ(吉小教)仙台一名目

1

2

3

4



宮城県

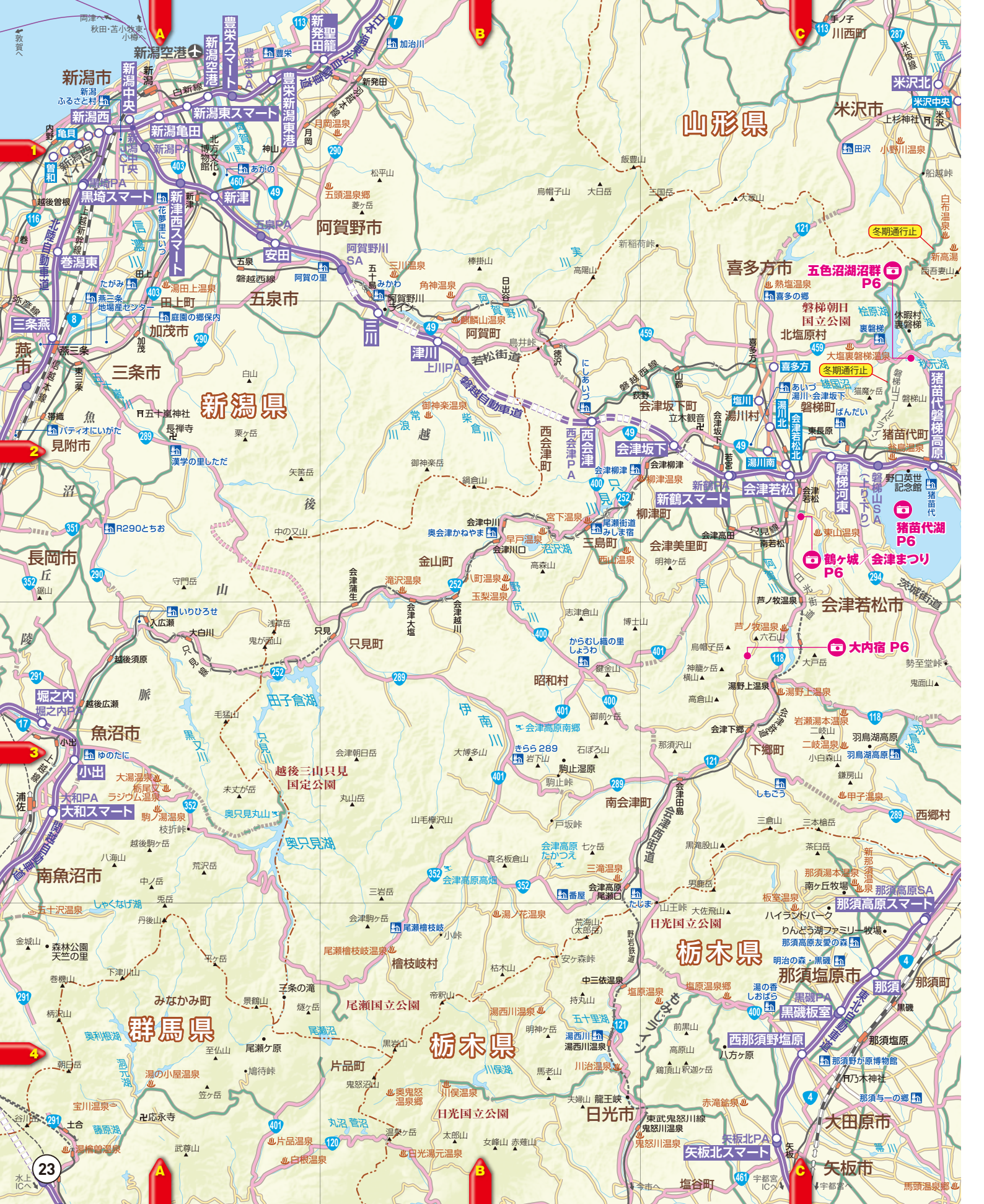
福島県

太平洋

福島県・新潟県

0 5 10 15km

1:550,000 地図上の1cmは5.5km



山形県

新潟県

栃木県

群馬県

栃木県

Map content including city names (新潟市, 阿賀野市, 三上市, 魚沼市, 南魚沼市, 日光市, 大田原市), prefecture names (山形県, 新潟県, 群馬県, 栃木県), and various geographical features like mountains (飯豊山, 大白岳), rivers (阿賀野川, 荒瀬川), and hot springs (湯田上温泉, 湯川温泉). It also shows major roads (403, 49, 290, 401) and public facilities (新潟空港, 新鶴スマート).

Vertical text on the left edge: 1, 2, 3, 4, 23, 水上ICへ

Vertical text on the right edge: 宇都宮ICへ

Vertical text on the left side: A, B, C

Vertical text on the bottom edge: A, B, C



「復興を願う」柏館 健さん／撮影地：福島県双葉郡 浪江町請戸漁港

福島県の「今」を伝える
復興支援ポータルサイト

福島の今



※各市町村の被害状況のデータについては、以下の資料に準拠しています。

- 最大震度** …「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度、平成24年12月,気象庁
- 浸水面積** …津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報)、平成23年4月18日,国土地理院
- 最大浸水深** …津波痕跡データベース,東北大学災害科学国際研究所 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
- 住家被害・人的被害** …平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙),令和4年3月8日(火)14時00分,消防庁災害対策本部

●各市町村の被害状況のデータは令和4年3月1日現在のもの。●被害状況には、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の余震による被害(別に被害状況のとりまとめを行っている令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震及び令和3年3月20日に発生した宮城県沖を震源とする地震による被害を除く。)を含むほか、平成23年3月11日以降に発生した余震域外の被害の区別が不可能な地震による被害を含む。●不明箇所については現時点で調査しているものも含む(空欄または「不明」としているものは、資料記載の通り本誌に掲載)。●福島県の死者・行方不明者数については、他県の計上方法と異なるため、可能な範囲において重複計上や計上漏れを排除し、一部他県との整合を図り計上し直したもの。よって、消防庁と福島県の公表数に違いがある。

発行…復興庁

企画・編集・制作…株式会社JTBパブリッシング

©2023復興庁／JTB Publishing, Inc. All Rights Reserved.

●本誌掲載のデータは2023年1月および9月現在のものです。発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際には電話等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は、補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいようお願いいたします。●本誌掲載の料金は原則として取材時点で確認した消費税込みの料金です。●定休日は原則として年末年始・お盆休み・ゴールデンウィークを省略しています。●利用時間は特記以外原則として開館～閉館です。入館時間は通常閉館の30分～1時間前です。

ご注意ください。●交通情報については天災の影響や季節などにより変動する場合がありますので、お出かけの際には各交通機関にお問合せください。●新型コロナウイルス感染症対策として、各施設の営業時間や定休日、提供するサービスなどに変更が生じている可能性があります。各施設へお問合せのうえ、お出かけください。●「震災伝承施設」、「3.11伝承ロード」は国土交通省東北地方整備局の登録商標です。

本誌に掲載した地図にあたっては、国土地理院数値地図(国土基本情報)を加工。